

# I 利用者のために

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

徳島県人口移動調査は、県内の各市町村の人口及び世帯の移動状況を明らかにし、国勢調査の実施から次の国勢調査の実施までの間の市町村ごとの人口及び世帯数を推計し、併せて人口及びその移動状況を年齢別に集計することにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

### (2) 調査の根拠

徳島県統計調査条例（平成21年徳島県条例第17号）

徳島県人口移動調査要綱

### (3) 調査の期間

毎月1日から末日までの期間を単位とする。

### (4) 調査の対象

住民基本台帳法の規定に基づき移動のあった者並びに移動のあった世帯とする。

### (5) 調査事項

ア 出生・死亡

イ 転入者（従前の住所地別）

ウ 転出者（転出先別）

エ 世帯の移動

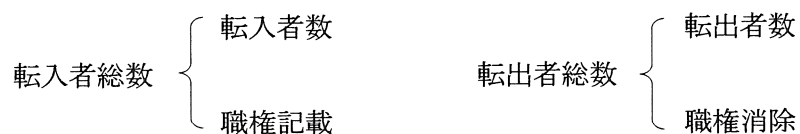
オ 年齢別転入・転出・死亡者

## 2 調査結果の表章について

人口と世帯数は、令和2年1月1日現在における数値で、移動状況は平成31年1月から令和元年12月までの1年間の数値をまとめたものである。

なお、この数値は平成27年国勢調査結果を基礎数値とし、住民基本台帳法に基づく移動状況を加減して推計したものである。

## 3 転入・転出者数について



転入者総数・転出者総数には、それぞれ職権記載（従前の住所あり、従前の住所なし、帰化・国籍取得、その他）、職権消除（国籍喪失、その他）が含まれている。

このため、転入者総数と転入者数（県外及び県内各市町村から）、転出者総数と転出者数（県外及び県内各市町村へ）は一致しない。

また、各市町村での転出届と転入届の受理日に時間的なずれがあるため、年間の県内各市町村間の転入者数と転出者数は一致しない場合がある。

## 4 補正值について

国勢調査結果を基礎数値として毎月の移動状況を各歳別に集計する課程で、誤差が生じ人口がマイナスになる場合は、補正值を設けている。

補正值が出てきた場合、次のようになる。

- (1) 0歳の人数＋・・・・・・・・＋100歳以上の人数＋年齢不詳＝総数＋補正值
- (2) 補正があった年齢については、県計の人数と全市町村の人数の合計は一致しない。

[例]90歳に補正があった場合

県計の90歳の人数≠各市町村の90歳の人数の合計

- (3) 補正があった場合、各年齢の人数の合計は、3区分人口と一致しない。

## 5 用語の説明

- (1) 出生児・・・戸籍法の規定に基づく出生届により、住民票の記載をした者。
- (2) 死亡者・・・戸籍法の規定に基づく死亡届又は失踪宣告届により住民票の削除をした者。
- (3) 転入者・・・住民基本台帳法の規定に基づく転入届により、住民票の記載をした者。
- (4) 転出者・・・住民基本台帳法の規定に基づく転出届により、住民票の削除をした者。

※外国人住民については、従来の制度であった外国人登録法が平成24年7月9日に廃止され、戸籍法及び住民基本台帳法の対象となっている。

(5) その他の用語・比率等

$$\text{ア 人口増加率 (\%)} = \frac{\text{令和2年1月1日現在人口} - \text{平成31年1月1日現在人口}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$$

$$\text{イ 出生率 (\%)} = \frac{\text{平成31年1月} \sim \text{令和元年12月間の出生児数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 1,000$$

$$\text{ウ 死亡率 (\%)} = \frac{\text{平成31年1月} \sim \text{令和元年12月間の死亡者数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 1,000$$

$$\text{エ 自然増加率 (\%)} = \frac{\text{令和元年(平成31年)間の出生児数} - \text{令和元年(平成31年)間の死亡者数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$$

$$\text{オ 転入率 (\%)} = \frac{\text{平成31年1月} \sim \text{令和元年12月間の転入者総数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$$

$$\text{カ 転出率 (\%)} = \frac{\text{平成31年1月} \sim \text{令和元年12月間の転出者総数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$$

$$\text{キ 社会増加率 (\%)} = \frac{\text{令和元年(平成31年)間の転入者総数} - \text{令和元年(平成31年)間の転出者総数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$$

$$\text{ク 従属人口指数 (\%)} = \frac{\text{0} \sim \text{14歳人口} + \text{65歳以上人口}}{\text{15歳} \sim \text{64歳人口}} \times 100$$

$$\text{ケ 年少人口指数 (\%)} = \frac{\text{0} \sim \text{14歳人口}}{\text{15歳} \sim \text{64歳人口}} \times 100$$

$$\text{コ 老年人口指数 (\%)} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{15歳} \sim \text{64歳人口}} \times 100$$

$$\text{サ 老年化指数 (\%)} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{0} \sim \text{14歳人口}} \times 100$$

$$\text{シ 平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{総人口(年齢不詳を除く)}} + 0.5$$

(6) 統計表中の符号の用法

- ア 「0.0」, 「0.00」・・・・・・表章単位に満たないもの
- イ 「－」・・・・・・零又は該当数値のないもの
- ウ 「…」・・・・・・不詳（数字が得られないもの）
- エ 「△」・・・・・・減少したもの

(7) 都道府県ブロックの分類について

- ・北海道ブロック・・・・北海道
- ・東北ブロック・・・・青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
- ・関東ブロック・・・・茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
- ・中部ブロック・・・・新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知
- ・近畿ブロック・・・・三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
- ・中国ブロック・・・・鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
- ・四国ブロック・・・・香川, 愛媛, 高知, （徳島を除く）
- ・九州ブロック・・・・福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

## 5 問い合わせ先

徳島県政策創造部統計データ課 人口・生活統計担当

〒770-8570 徳島県万代町1丁目1番地

電話 (088) 621-2153

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 推計人口・世帯数

#### (1) 人口・世帯数の推移

徳島県の令和2年1月1日現在推計人口は、727,281人（男347,026人、女380,255人）となっている。

（表1）

人口は昭和31年以降減少傾向であったが、昭和48年を境に増加し始め、昭和63年に836,132人に達した。その後は再び減少傾向となり、平成11年以降は毎年減少している。

逆に、世帯数は昭和30年では174,250世帯であったが、その後、ほぼ毎年増加し、令和2年では309,725世帯となっている。

表1 徳島県における1月1日現在の推計人口（昭和30年～令和2年）

（単位：世帯、人）

年次	世帯数	推計人口			増減合計	自然動態			社会動態		
		総数	男	女		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
昭和30年	174,250	878,109	427,204	450,905	562	4,417	2,046	2,371	7,970	9,779	△1,809
31	174,286	878,671	...	...	△5,343	16,908	8,876	8,032	35,407	48,782	△13,375
32	174,388	873,328	...	...	△7,754	14,913	9,586	5,327	39,903	52,984	△13,081
33	175,322	865,574	...	...	△2,281	15,902	8,636	7,266	37,550	47,097	△9,547
34	176,591	863,293	...	...	△4,100	15,056	7,909	7,147	34,618	45,865	△11,247
35	177,841	859,193	...	...	△8,458	13,636	8,153	5,483	31,185	45,126	△13,941
36	182,729	847,311	408,321	438,990	△4,252	13,106	8,031	5,075	30,977	40,304	△9,327
37	...	843,059	406,425	436,634	△2,518	12,572	8,178	4,394	45,253	52,165	△6,912
38	185,957	840,541	405,060	435,481	△3,616	11,932	7,419	4,513	50,732	58,861	△8,129
39	188,141	836,925	402,988	433,937	△2,677	11,923	6,946	4,977	55,524	63,178	△7,654
40	191,146	834,248	401,343	432,905	△1,392	12,340	7,456	4,884	53,984	60,260	△6,276
41	191,849	816,168	390,336	425,832	△5,621	8,633	6,868	1,765	45,395	52,781	△7,386
42	194,208	810,547	387,410	423,137	3,495	12,507	6,847	5,660	39,439	41,604	△2,165
43	197,831	814,042	389,342	424,700	△4,677	11,506	7,163	4,343	38,959	47,979	△9,020
44	200,943	809,365	386,747	422,618	△5,230	11,458	7,104	4,354	41,942	51,526	△9,584
45	203,780	804,135	383,804	420,331	△2,705	11,569	7,276	4,293	41,825	48,823	△6,998
46	206,386	791,693	377,197	414,496	△1,356	11,063	6,727	4,336	43,245	48,937	△5,692
47	210,680	790,337	376,658	413,679	△466	11,325	6,538	4,787	42,127	47,380	△5,253
48	213,879	789,871	376,642	413,229	1,748	12,183	7,045	5,138	44,738	48,128	△3,390
49	217,437	791,619	377,737	413,882	1,038	11,345	6,537	4,808	41,739	45,509	△3,770
50	221,151	792,657	378,247	414,410	4,652	11,504	6,765	4,739	42,314	42,401	△87
51	223,778	806,551	385,781	420,770	4,099	11,197	7,111	4,086	41,753	41,740	13
52	227,015	810,650	388,399	422,251	3,342	10,744	6,627	4,117	42,431	43,206	△775
53	229,827	813,992	390,426	423,566	4,016	11,014	6,565	4,449	40,776	41,209	△433
54	232,421	818,008	392,884	425,124	3,773	10,624	6,471	4,153	39,535	39,915	△380
55	235,402	821,781	394,720	427,061	2,026	10,561	6,998	3,563	37,943	39,480	△1,537

年次	世帯数	推計人口			増減合計	自然動態			社会動態		
		総数	男	女		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
昭和56年	240,370	826,152	396,533	429,619	1,719	10,383	6,790	3,593	36,860	38,734	△1,874
57	243,497	827,871	397,036	430,835	1,363	10,192	6,656	3,536	37,499	39,672	△2,173
58	246,133	829,234	397,432	431,802	1,218	10,256	6,853	3,403	36,883	39,068	△2,185
59	248,528	830,452	397,651	432,801	1,304	9,967	6,638	3,329	35,759	37,784	△2,025
60	250,907	831,756	397,854	433,902	△2,413	9,395	6,770	2,625	33,737	38,775	△5,038
61	248,898	835,675	400,025	435,650	124	9,122	6,726	2,396	33,214	35,486	△2,272
62	250,996	835,799	399,776	436,023	333	8,623	6,523	2,100	33,442	35,209	△1,767
63	253,376	836,132	399,728	436,404	△216	8,672	6,891	1,781	33,163	35,160	△1,997
64	255,524	835,916	399,395	436,521	△1,200	8,080	6,902	1,178	33,238	35,616	△2,378
平成2年	257,657	834,716	398,469	436,247	△1,456	8,002	7,282	720	33,982	36,158	△2,176
3	260,257	831,758	395,933	435,825	△756	7,743	6,973	770	33,245	34,771	△1,526
4	262,846	831,002	394,956	436,046	△807	7,502	7,250	252	33,336	34,395	△1,059
5	265,555	830,195	394,281	435,914	△116	7,416	7,225	191	33,760	34,067	△307
6	268,218	830,079	394,119	435,960	△307	7,412	7,514	△102	34,471	34,676	△205
7	270,944	829,772	393,930	435,842	784	7,518	7,641	△123	35,101	34,194	907
8	275,694	832,741	395,839	436,902	268	7,384	7,601	△217	34,966	34,481	485
9	279,236	833,009	395,904	437,105	△740	7,202	7,765	△563	34,878	35,055	△177
10	282,834	832,269	395,374	436,895	149	7,314	7,695	△381	34,530	34,000	530
11	286,443	832,418	395,249	437,169	△1,843	7,161	8,064	△903	33,155	34,095	△940
12	289,195	830,575	394,274	436,301	△1,463	7,257	7,950	△693	33,025	33,795	△770
13	289,614	824,264	391,691	432,573	△1,376	7,034	8,001	△967	33,043	33,452	△409
14	292,805	822,888	390,857	432,031	△1,953	6,882	7,843	△961	31,768	32,760	△992
15	295,271	820,935	389,851	431,084	△3,232	6,549	8,395	△1,846	31,512	32,898	△1,386
16	297,822	817,703	388,142	429,561	△3,017	6,553	8,431	△1,878	30,518	31,657	△1,139
17	300,230	814,686	386,298	428,388	△4,652	6,011	8,682	△2,671	28,936	30,917	△1,981
18	299,548	809,607	384,454	425,153	△5,112	6,211	8,735	△2,524	28,392	30,980	△2,588
19	302,485	804,495	381,980	422,515	△5,306	6,070	8,489	△2,419	26,563	29,450	△2,887
20	304,453	799,189	379,194	419,995	△5,911	5,901	8,868	△2,967	25,980	28,924	△2,944
21	306,479	793,278	376,252	417,026	△4,755	5,959	8,764	△2,805	25,582	27,532	△1,950
22	308,706	788,523	373,926	414,597	△5,326	5,946	9,343	△3,397	24,995	26,924	△1,929
23	302,648	784,616	372,267	412,349	△4,838	5,952	9,412	△3,460	24,319	25,697	△1,378
24	304,299	779,778	370,073	409,705	△4,985	5,831	9,884	△4,053	25,003	25,935	△932
25	305,902	774,793	367,915	406,878	△6,135	5,664	10,006	△4,342	24,463	26,256	△1,793
26	307,028	768,658	364,992	403,666	△5,824	5,529	9,869	△4,340	23,668	25,152	△1,484
27	308,161	762,834	362,302	400,532	△6,473	5,622	9,879	△4,257	24,255	26,471	△2,216
28	306,305	754,832	359,436	395,396	△5,853	5,393	9,862	△4,469	23,597	24,981	△1,384
29	307,626	748,979	356,845	392,134	△6,866	5,225	10,213	△4,988	23,454	25,332	△1,878
30	308,387	742,113	353,755	388,358	△6,857	5,045	10,015	△4,970	23,049	24,936	△1,887
31	309,247	735,256	350,720	384,536	△7,975	4,582	10,126	△5,544	23,574	26,005	△2,431
令和2年	309,725	727,281	347,026	380,255							

- 1) 昭和30年は10月1日現在の国勢調査の数値。
- 2) 出生、死亡、転入、転出の数値は、毎年1～12月の合計。ただし、昭和30年は10～12月の合計。
- 3) 国勢調査の実施年は10月1日現在の人口を国勢調査の数値に置き換えるため、自然動態及び社会動態の数値を加減しても、翌年の1月1日現在の推計人口の数値と一致しない（昭和31年を除く）。

## (2) 市町村別人口

令和2年1月1日現在の総人口に占める市町村別人口の割合をみると、徳島市が35.1%と、徳島県の人口の3分の1以上が徳島市に集中していることがわかる。

市町村別人口を30年前の平成2年と比べると、人口の増加数は藍住町（10,020人増）が最も大きく、次いで北島町（3,940人増）、松茂町（3,059人増）の順、逆に減少数は三好市（19,084人減）が最も大きく、次いで阿南市（11,260人減）、美馬市（11,046人減）の順となっている。

また、10年前の平成22年と比べると、人口が増加している県内市町村は2町のみで、藍住町（2,112人増）、北島町（1,070人増）の順となっている。（表2）

表2 市町村別人口

（単位：人，％）

市町村別	平成2年	平成12年	平成22年	令和2年		令和2年と平成2年との人口の差	10年毎の人口の差		
	人口	人口	人口	人口	総人口に占める割合		平成2年～平成12年	平成12年～平成22年	平成22年～令和2年
県計	834,716	830,575	788,523	727,281	100.0	△107,435	△4,141	△42,052	△61,242
徳島市	263,121	270,357	264,586	255,237	35.1	△7,884	7,236	△5,771	△9,349
鳴門市	64,394	65,135	61,630	55,832	7.7	△8,562	741	△3,505	△5,798
小松島市	43,132	43,333	40,816	36,560	5.0	△6,572	201	△2,517	△4,256
阿南市	81,161	79,887	76,091	69,901	9.6	△11,260	△1,274	△3,796	△6,190
吉野川市	49,239	47,538	44,211	39,170	5.4	△10,069	△1,701	△3,327	△5,041
阿波市	43,704	42,384	39,445	34,964	4.8	△8,740	△1,320	△2,939	△4,481
美馬市	39,481	37,217	32,802	28,435	3.9	△11,046	△2,264	△4,415	△4,367
三好市	43,154	37,978	30,887	24,070	3.3	△19,084	△5,176	△7,091	△6,817
勝浦町	7,448	6,734	5,827	4,891	0.7	△2,557	△714	△907	△936
上勝町	2,448	2,143	1,801	1,354	0.2	△1,094	△305	△342	△447
佐那河内村	3,545	3,127	2,652	2,076	0.3	△1,469	△418	△475	△576
石井町	25,293	26,003	25,840	25,025	3.4	△268	710	△163	△815
神山町	9,892	7,829	6,057	4,668	0.6	△5,224	△2,063	△1,772	△1,389
那賀町	13,443	11,962	9,589	7,418	1.0	△6,025	△1,481	△2,373	△2,171
牟岐町	6,940	5,893	4,912	3,800	0.5	△3,140	△1,047	△981	△1,112
美波町	10,708	9,385	7,972	6,376	0.9	△4,332	△1,323	△1,413	△1,596
海陽町	13,267	12,039	10,572	8,492	1.2	△4,775	△1,228	△1,467	△2,080
松茂町	11,764	14,336	15,268	14,823	2.0	3,059	2,572	932	△445
北島町	18,758	19,902	21,628	22,698	3.1	3,940	1,144	1,726	1,070
藍住町	25,138	30,072	33,046	35,158	4.8	10,020	4,934	2,974	2,112
板野町	13,805	14,727	14,289	13,132	1.8	△673	922	△438	△1,157
上板町	12,563	13,005	12,896	11,505	1.6	△1,058	442	△109	△1,391
つるぎ町	16,202	13,412	10,662	7,731	1.1	△8,471	△2,790	△2,750	△2,931
東みよし町	16,116	16,177	15,044	13,965	1.9	△2,151	61	△1,133	△1,079

1) 各年1月1日現在。

2) 平成2年及び平成12年における阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、那賀町、美波町、海陽町、つるぎ町及び東みよし町の人口は、旧市町村の人口を合計した数である。

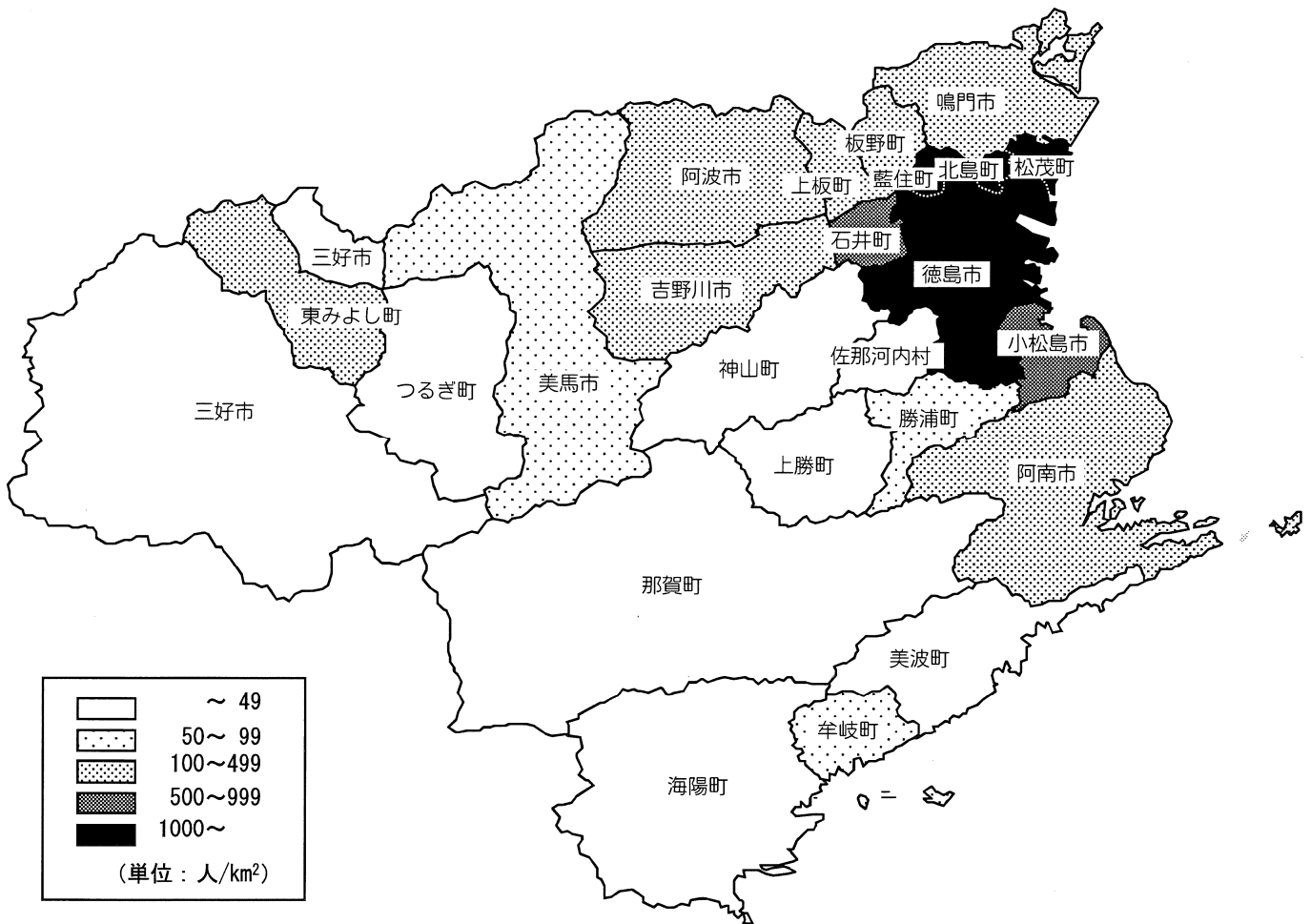
### (3) 人口密度

人口密度は、県全体で175.4人/km<sup>2</sup>となっている。

市町村別にみると、人口密度は北島町2,597.0人/km<sup>2</sup>が最も高く、次いで藍住町2,160.9人/km<sup>2</sup>、徳島市1,333.6人/km<sup>2</sup>、松茂町1,040.9人/km<sup>2</sup>、石井町867.4人/km<sup>2</sup>の順となっている。

逆に人口密度が低い市町村は、那賀町10.7人/km<sup>2</sup>、上勝町12.4人/km<sup>2</sup>、海陽町25.9人/km<sup>2</sup>、神山町26.9人/km<sup>2</sup>、三好市33.4人/km<sup>2</sup>の順になっている。(図1)

図1 市町村別人口密度の状況（令和2年1月1日現在）





#### (4) 年齢3区分別人口

令和2年1月1日現在の年齢3区分別人口を見ると、0～14歳の年少人口は80,850人、15～64歳の生産年齢人口は395,380人、65歳以上の老年人口は241,321人で、県人口に占める割合は、それぞれ11.3%、55.1%、33.6%となっている。(表3)

前年に比べると、人口では、年少人口は1,744人(2.1%)減、生産年齢人口は7,573人(1.9%)減、老年人口は1,342人(0.6%)増となっている。割合では、年少人口は0.1ポイント低下、生産年齢人口は0.4ポイント低下、老年人口は0.5ポイント上昇となっており、高齢化が進行していることが示されている。

表3 年齢3区分別人口及び割合の推移

(単位：人，%)

年次	人 口			割 合		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成13年	116,477	525,419	181,838	14.1	63.7	22.1
14	114,278	522,415	185,668	13.9	63.5	22.6
15	112,361	517,685	190,361	13.7	63.1	23.2
16	109,918	514,999	192,258	13.4	63.0	23.5
17	108,147	511,651	194,360	13.3	62.8	23.9
18	105,351	506,144	197,931	13.0	62.5	24.4
19	103,623	499,211	201,480	12.9	62.1	25.0
20	102,017	492,045	204,946	12.8	61.6	25.6
21	100,354	485,300	207,443	12.7	61.2	26.2
22	98,883	479,232	210,227	12.5	60.8	26.7
23	96,351	471,770	209,314	12.4	60.7	26.9
24	95,089	467,514	209,993	12.3	60.5	27.2
25	93,930	457,771	215,911	12.2	59.6	28.1
26	92,391	446,209	222,877	12.1	58.6	29.3
27	91,060	435,715	228,877	12.1	57.7	30.3
28	86,761	426,236	232,105	11.6	57.2	31.2
29	85,425	418,059	235,765	11.6	56.6	31.9
30	83,948	410,365	238,070	11.5	56.0	32.5
31	82,594	402,953	239,979	11.4	55.5	33.1
令和2年	80,850	395,380	241,321	11.3	55.1	33.6

- 1) 各年1月1日現在である。
- 2) 年齢は各年1月1日現在で計算している。
- 3) 割合は分母から不詳を除いて算出している。

## 2 人口動態

### (1) 人口動態の推移

人口動態は、出生・死亡の自然動態と、転入・転出による社会動態に区分することができる。

自然動態について、出生数は長期的に減少傾向にあり、令和元年（平成31年）中の人口千人あたりの出生数は6.23と調査開始以来最低である。一方、死亡数は調査開始以来最低（7.80）となった昭和62年以降上昇傾向が続いており、令和元年（平成31年）の人口千人あたりの死亡数は13.77と調査開始以来最高となっている。また、平成6年以降は死亡数が出生数を上回っている。（図2）

社会動態では、転出数が転入数を上回ることが多く、平成11年以降は転出超過の状態が続いている。（図3）

図2 人口千人当たりの出生数・死亡数の推移

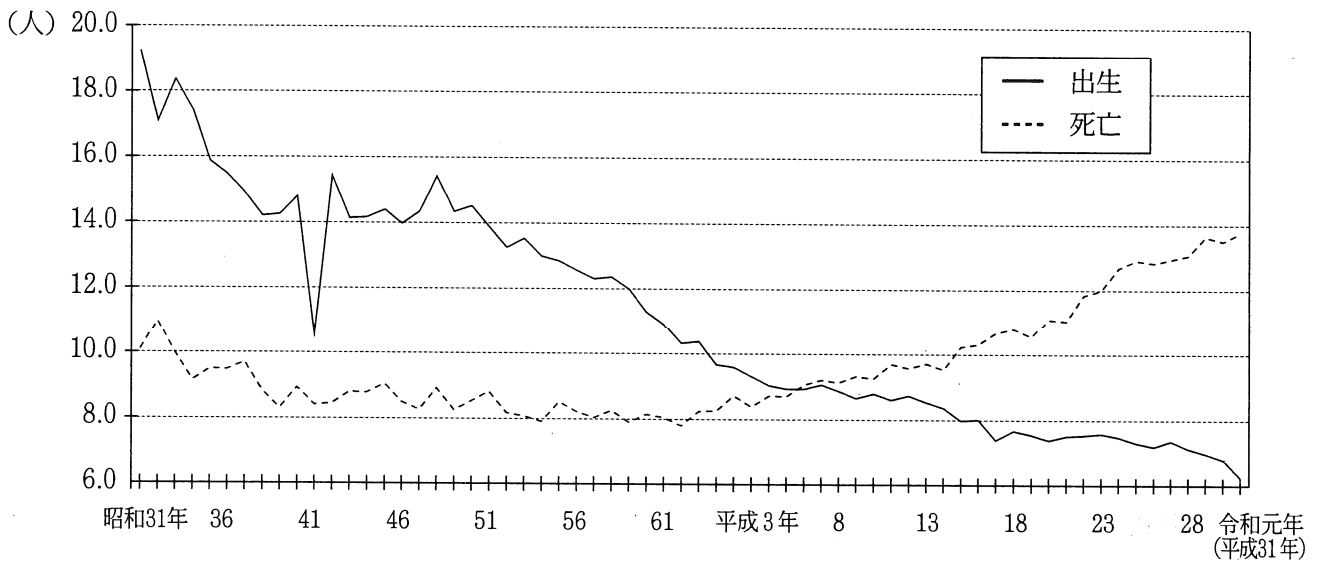
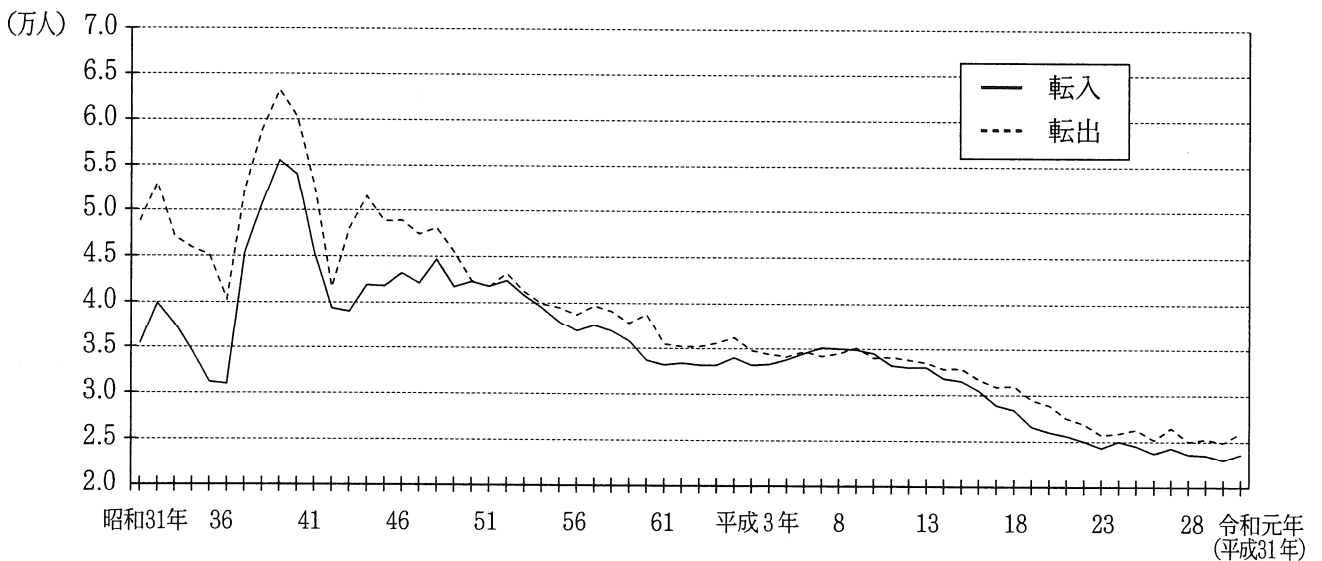


図3 年間転入・転出状況の推移



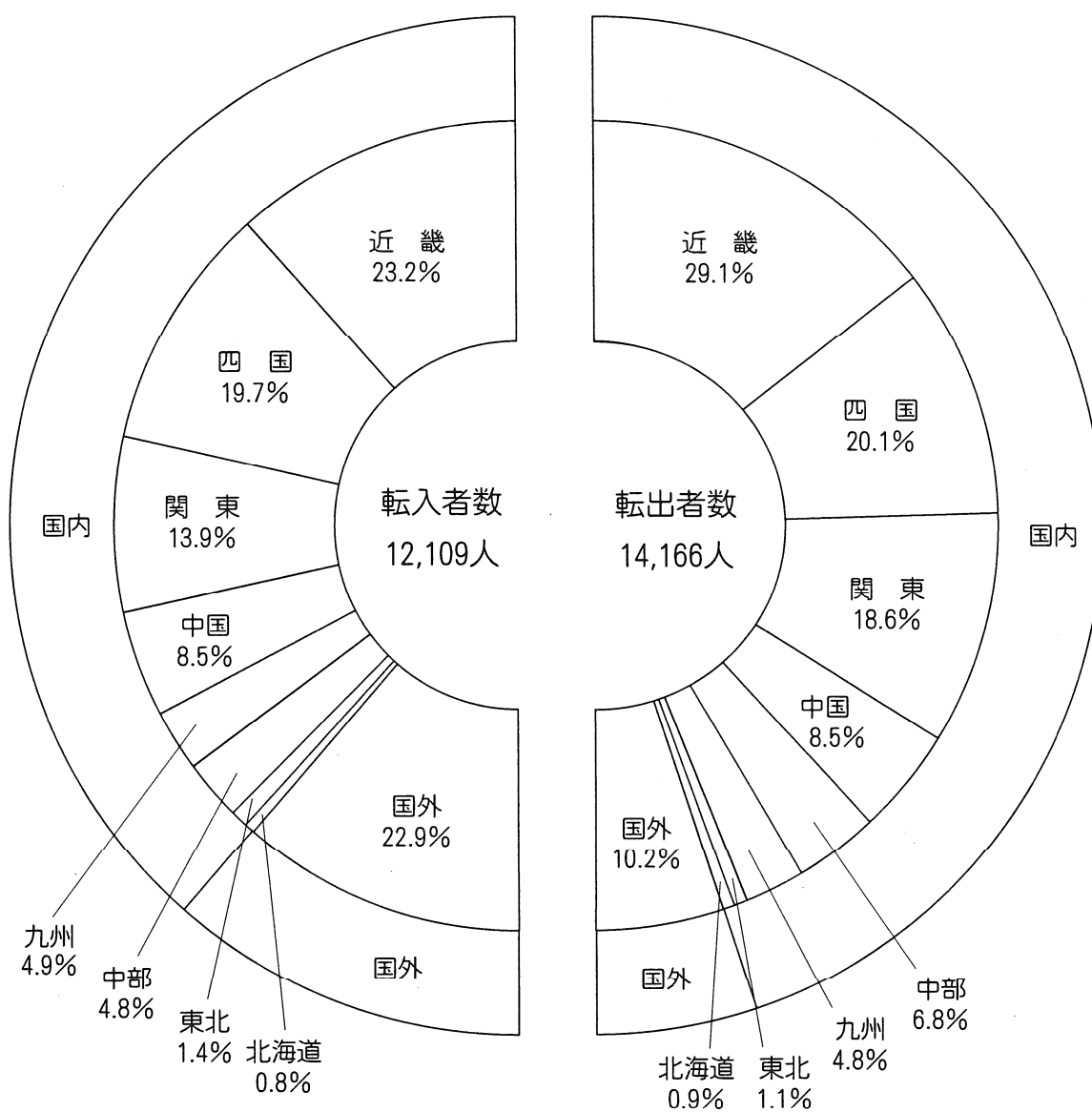
## (2) ブロック別・年齢階級別移動状況

令和元年（平成31年）の移動状況をブロック別で見ると、転入、転出ともに近畿ブロックとの移動が最も多く、次いで四国（徳島を除く）ブロックとなっている。（図4）

増減をみると、国外及び東北以外のブロックで転出超過となっており、特に関東及び近畿ブロックにおける転出超過が著しい。（表4）

年齢階級別転入・転出状況の推移をみると、55歳から64歳の年齢層では転入超過、0歳から54歳、65歳以上の年齢層では転出超過となっている。特に20歳から24歳、25歳から34歳の転出超過が著しい。（表5）

図4 ブロック別転入・転出状況



（注）四国には県内移動は含まない。

表4 ブロック別転入・転出者数

(単位：人)

地域区分	転入者	転出者	増減
計	12,109	14,166	△2,057
北海道	100	134	△34
東北	164	153	11
関東	1,678	2,629	△951
中部	581	965	△384
近畿	2,804	4,117	△1,313
中国	1,031	1,201	△170
四国	2,385	2,841	△456
九州	595	678	△83
国外	2,771	1,448	1,323

(注) 四国には県内移動は含まない。

表5 年齢階級別転入・転出状況の推移

(単位：人)

年齢別	年次 移動別	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元年 (平成31年)
		転入	28,392	26,563	25,980	25,582	24,995	24,319	25,003	24,463	23,668	24,255	23,597	23,454	23,049
転出	30,980	29,450	28,924	27,532	26,924	25,697	25,935	26,256	25,152	26,471	24,981	25,332	24,936	26,005	
増減	△2,588	△2,887	△2,944	△1,950	△1,929	△1,378	△932	△1,793	△1,484	△2,216	△1,384	△1,878	△1,887	△2,431	
0～14歳	転入	4,051	3,796	3,730	3,501	3,675	3,454	3,554	3,504	3,295	3,166	3,053	2,918	2,792	2,724
	転出	4,157	3,936	3,861	3,539	3,665	3,398	3,515	3,549	3,254	3,267	3,008	3,036	2,897	2,886
	増減	△106	△140	△131	△38	10	56	39	△45	41	△101	45	△118	△105	△162
15～19歳	転入	1,253	1,136	1,130	1,027	1,011	969	987	1,004	929	1,057	1,092	1,118	1,135	1,311
	転出	1,577	1,601	1,559	1,448	1,362	1,351	1,255	1,265	1,243	1,410	1,322	1,408	1,373	1,593
	増減	△324	△465	△429	△421	△351	△382	△268	△261	△314	△353	△230	△290	△238	△282
20～24歳	転入	4,450	4,259	3,918	3,657	3,490	3,425	3,318	3,139	3,226	3,408	3,441	3,509	3,515	3,776
	転出	5,718	5,406	5,134	4,776	4,456	4,175	4,039	4,107	4,045	4,408	4,263	4,358	4,480	4,647
	増減	△1,268	△1,147	△1,216	△1,119	△966	△750	△721	△968	△819	△1,000	△822	△849	△965	△871
25～34歳	転入	9,559	9,108	8,895	8,771	8,194	8,030	8,593	8,093	7,864	7,821	7,670	7,634	7,351	7,396
	転出	10,442	10,085	9,834	9,176	8,775	8,377	8,671	8,705	8,400	8,587	8,236	8,090	7,936	8,091
	増減	△883	△977	△939	△405	△581	△347	△78	△612	△536	△766	△566	△456	△585	△695
35～44歳	転入	3,989	3,636	3,761	3,844	4,015	3,933	4,105	4,165	4,056	4,128	3,978	3,805	3,629	3,650
	転出	4,226	3,925	4,058	3,993	4,118	4,131	4,127	4,191	4,118	4,195	3,827	3,967	3,779	3,923
	増減	△237	△289	△297	△149	△103	△198	△22	△26	△62	△67	151	△162	△150	△273
45～54歳	転入	2,092	1,888	1,867	1,979	1,848	1,869	1,844	1,857	1,771	1,933	1,900	1,922	2,033	2,075
	転出	2,083	1,892	1,888	1,980	1,909	1,784	1,853	1,825	1,773	1,987	1,930	1,976	2,075	2,224
	増減	9	△4	△21	△1	△61	85	△9	32	△2	△54	△30	△54	△42	△149
55～64歳	転入	1,679	1,561	1,565	1,608	1,610	1,480	1,397	1,350	1,243	1,412	1,126	1,176	1,214	1,194
	転出	1,501	1,392	1,487	1,449	1,483	1,343	1,242	1,267	1,097	1,286	1,108	1,110	1,060	1,164
	増減	178	169	78	159	127	137	155	83	146	126	18	66	154	30
65歳以上	転入	1,319	1,179	1,114	1,195	1,152	1,158	1,205	1,351	1,283	1,330	1,337	1,372	1,380	1,448
	転出	1,276	1,213	1,103	1,171	1,156	1,138	1,232	1,347	1,222	1,330	1,287	1,387	1,336	1,477
	増減	43	△34	11	24	△4	20	△27	4	61	0	50	△15	44	△29

1) 各年1～12月の移動状況である。

2) 総数は年齢不詳を含む。